

新型コロナウイルス感染症拡大防止徹底のお願い ～警戒ステージへの引き上げによる対応について～

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、1月7日に首都圏（1都3県）に緊急事態宣言が再発令されました。また、県内においては、重症者用病床の占有率が指標を上回ったことなどから1月5日に警戒レベルを「注意ステージ」から「警戒ステージ」に引き上げられました。1月6日には県内の1日あたりの新規感染者数が50人に達し、感染が急激に拡大しています。

町民の皆さまには、県の「警戒ステージ」への引き上げに伴う要請等、次の点について、改めて感染拡大防止の徹底をお願いします。

1 基本的な感染対策の徹底

- 手洗い、マスクの着用、3つの密の回避等
- 家庭でも、咳エチケット、こまめな換気と加湿、取手・ノブなど共用部分の消毒を実践してください。
- 感染リスクが高まる「5つの場面」に注意してください。

2 会食について

- 家族や普段一緒にいる人以外との会食は控えてください。

3 外出について

- 大阪府・京都府・緊急事態宣言が発出されている地域など感染拡大地域への不要不急の外出は控えてください。

4 【Go to Eatキャンペーン】について

- 発行済み食事券等の利用を控えてください。

◆発熱等の症状があり感染が疑われる場合は、まず、かかりつけ医または受診・相談センター（Tel077-528-3621）に電話相談してください。

◆電話によるお問合せ総合窓口 生活安全課 Tel58-3703（平日 8:30～17:15）

感染リスクが高まる



「5つの場面」

① 飲酒を伴う懇親会

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



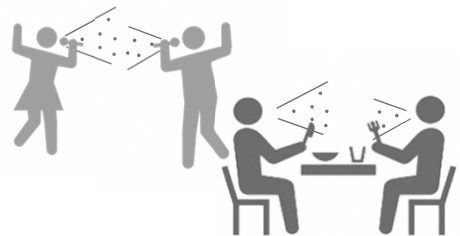
② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



⑤ 仕事から休憩室などへの居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

